



# 香港株式市場フラッシュ

## 米中の長期金利逆転、カジノ株・旅行代理店株の上昇

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2022年10月5日号(10月5日作成)

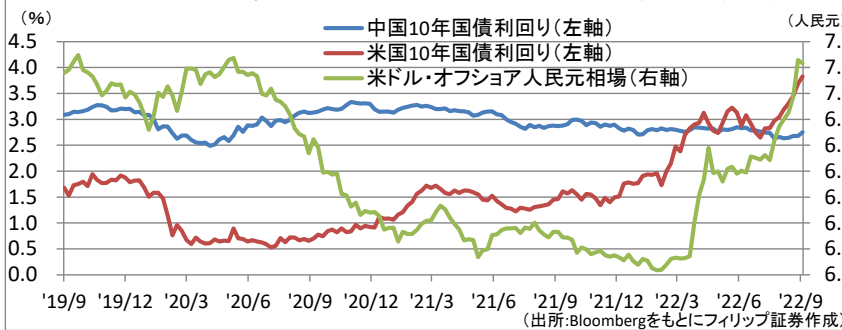
### “米国と中国の長期金利逆転と米ドル・人民元相場”

中国10年国債利回りは、2020年12月頃の3.3%台から緩やかな低下基調を辿り、今年9月末に2.75%まで低下した。これに対し、米10年国債利回りは20年12月頃に0.8%台だったなか米中央銀行のFRBが政策金利を引き上げた今年3月頃から利回り上昇が加速し、4月後半からは中国10年国債利回りを上回るようになった。

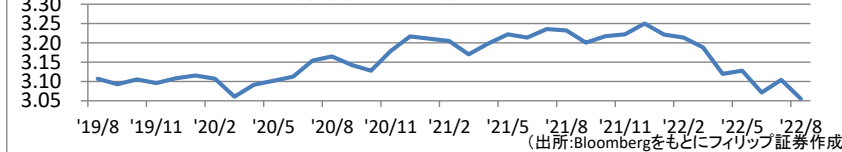
このような利回り較差動向を反映し、米ドル人民元相場も今年3月の1米ドル6.3元台から急激に米ドル高・人民元安が進行。9月末に7.1台まで人民元安が進んだ。

その間には、ゼロコロナ政策を伴う厳しい都市封鎖に加え、不動産開発において住宅ローンを組んで購入した住宅が建設会社の資金不足で未完成となり、住宅ローンの返済がボイコットされる不動産危機などが問題とされた。人民元安を反映して外貨準備高も昨年12月をピークとして減少傾向を辿っており、中国当局も国外への資金流出に敏感とならざるを得ない面が強くなってきている。

中国と米国の10年国債利回り、および米ドル・人民元相場の週足終値推移



中国外貨準備高の月次推移(今年8月まで、過去3年間)

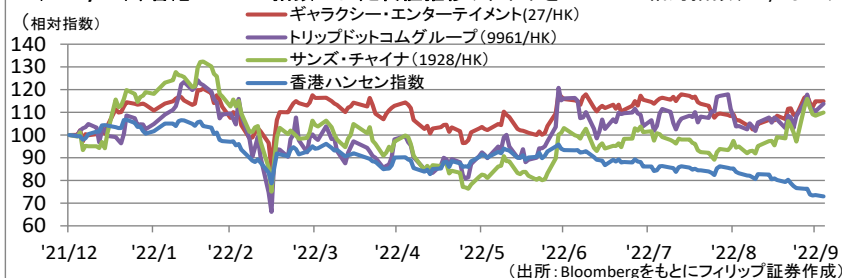


### “マカオのカジノ株、オンライン旅行代理店の株価上昇”

中国本土では、海外からの入国者に対してホテルでの7日間の隔離に加え、3日間の自宅等での健康観察の義務付けがいまだに残る。その一方、9/26より香港入境者へのホテル隔離が廃止され、マカオでは10月末か11月初旬に中国からの団体旅行客の受け入れが再開される方針となった。

マカオへのツアー再開は2020年の新型コロナ流行後で初めてとなる。香港ハンセン指数構成銘柄の年初来騰落率でも、**銀河娛樂[ギャラクシー・エンターテインメント](27/HK)**や**金沙中国[サンズ・チャイナ](1928/HK)**といったカジノ株、および**携程旅行網[トリップ・ドットコムグループ](9961/HK)**といったオンライン旅行代理店が上位を占めてきた。中国本土のゼロコロナ政策という重荷はあるものの、業績改善への転換は期待されよう。

ギャラクシー・エンターテインメント(27/HK)、トリップドットコムG(9961/HK)、サンズ・チャイナ(1928/HK)、香港ハンセン指数の日足終値推移(昨年末を100とした相対指数、10/3まで)



### ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全92銘柄)における終値の2021年末来騰落率

前回基準日: 20220920 基準日: 20221004

順位	2021年末来騰落率・上位10銘柄	(%)	前回順位
1	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	44.0	1
2	中国海洋石油 [CNOOC]	26.3	2
3	中国海外発展 [チャイナ・オーバーシーズ・ランド&インベスト]	22.2	3
4	中国移動 [チャイナ・モバイル]	15.8	4
5	銀河娛樂 [ギャラクシー・エンターテインメント]	14.9	9
6	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	13.7	12
7	金沙中国 [サンズ・チャイナ]	9.9	17
8	中国石油化工 [シノベック]	6.5	11
9	周大福珠寶集團 [チャウ・フック・ジュエリーグループ]	6.4	5
10	中国銀行(香港) [BOCホンコン]	4.8	13

順位	2021年末来騰落率・下位10銘柄	(%)	前回順位
92	SenseTime Group Inc(商湯集團)	-75.4	90
91	碧桂園控股 [カントリー・ガーデン・ホールディングス]	-72.9	91
90	舜宇光学科技(集團) [サニー・オプティカル・テクノロジー]	-71.6	92
89	ピリビリ	-70.7	88
88	万国数拠服務 [GDSホールディングス]	-70.6	89
87	申洲國際集團控股 [シェンジョウ・インターナショナルG]	-69.3	86
86	金蝶國際軟件集團 [キングディー・ソフトウェア]	-66.4	87
85	華虹半導体 [ファホン・セミコンダクター]	-61.9	85
84	China Literature Ltd (閱文集團)	-59.8	83
83	小米集團 [シャオミ]	-58.4	82

### 【2022年9-10月中国主要経済指標】

- 9月27日(火)
  - ・1-8月工業利益<前年同期比>: 前回▲1.1%、結果▲2.1%
- 9月30日(金)
  - ・9月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.4、結果50.1
  - ・9月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回52.6、結果50.6
  - ・9月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.5、結果48.1
- 10月7日(金)
  - ・9月外貨準備高: 前回3.054兆USD
- 10月8日(土)
  - ・9月(財新)サービス部門購買担当者景気指数(PMI): 前回55.0
- 10月14日(金)
  - ・9月貿易収支: 前回+793.9億USD
  - ・9月輸出<前年同月比>: 前回+7.1%
  - ・9月輸入<前年同月比>: 前回+0.3%
- 10月14日(金)
  - ・9月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回+2.5%
  - ・9月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回+2.3%
- 10月9日(日)-15日(土)
  - ・9月資金調達総額: 前回2兆4322億元
  - ・9月新規人民元建て融資: 前回1兆2542億元
  - ・9月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+12.2%
- 10月18日(火)
  - ・9月小売売上高<前年同月比>: 前回+5.4%
  - ・9月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+4.2%
  - ・1-9月固定資産投資<前年同月比>: 前回+5.8%
  - ・1-9月不動産投資<前年同月比>: 前回▲7.4%
  - ・9月住宅販売金額<前年同月比>: 前回▲30.3%
  - ・9月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.11%
- 10月20日(木)
  - ・1年ローン・プライムレート: 前回3.65%
  - ・5年ローン・プライムレート: 前回4.30%



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。